
(有)静岡健康企画	ことぶき薬局	TEL 0559(77)6024	FAX 0559(77)0890
	たまち薬局	054(251)1678	054(251)1685
	ひまわり薬局	053(463)4312	053(460)4612

らい予防法 の変遷

先日の熊本地裁での判決、また国の控訴断念を受け、今回はハンセン病について特集します。「らい予防法」廃止に至るまでの法律の変遷をまとめてみました。

【1】明治40年法律第11号（癩予防法二関スル件）

当時の国会論議は感染症（伝染病）としての恐ろしさよりも、むしろ「街頭を放浪するハンセン病患者は一流国家の恥である」したがって、貧しい患者を收容して住居と食事を与えんとする救貧立法の建前でした。

【2】癩予防法(昭和6年)

「明治40年法律第11号」が救貧を目的（建前だが）で比較的豊かな家庭は自宅での療養が認められていました。これに対し、「癩予防法」は貧富にかかわらず全員強制收容を規定とし、これに伴い国立療養所が新設されました。

【3】らい予防法(昭和28年)

強制收容を必要としない学説、特効薬の治癒例が報告されていましたが、改正された「らい予防法」は強制隔離收容の建前を踏襲したものでした。原則外出禁止、監禁、懲戒処分などもさせられました。

【4】らい予防法廃止

平成6年になり急速に廃止という機運が高まりました。これは時代の流れが大きく寄与し、またマスコミなど世論の後押しによります。最後は坂を転がる勢いで廃止が国会で決議されました。法律の廃止に対して、その法律が存在した事を国が謝罪したのは初めてのことです。

病気のはなし ペットボトル症候群

最近になって糖尿病の専門医の中で頻用されるようになった言葉です。糖尿病の原因の一つとして、遺伝的な素因に加えて食べ過ぎ、運動不足、ストレス、アルコールの飲みすぎが引き金となっている事があります。

『ペットボトル症候群』とは、ペットボトルという持ち歩きに便利で優れた給水源の普及に伴って増加してきた糖尿病の一群について表したものです。

大抵の清涼飲料水やジュースは糖分量が 10%くらいあります。ペットボトルは缶に比べて、量も多く、持ち運びも便利で常に携帯できるため、知らぬ間に 1 本飲みきっている、と言う事もあるでしょう。一般に成人が一日に摂取していい糖分量は 50 グラムまでと言われています。しかしペットボトル 1 本(500ml)ですでに 50 グラム。また、通常に食事をとれば、それだけ糖も摂取されるので、1 日分はゆうに越えてしまうのは明白です。

また、糖尿病になると喉が渇くと言った症状がでます。喉が渇く ジュースを飲む 高血糖になる。の悪循環によって高血糖が進み、終いには昏睡状態に陥る事もあるのです。一般に糖分が少ないとされているスポーツドリンクも摂りすぎればやはり同じです。注意してください。

これから暑さが増す中、汗も沢山かくため水分補給は重要となってきます。同時に『ペットボトル症候群』に陥る患者さまも増加する時期でもあります。水分補給の際は先ず御一考。甘いものもおいしいですけど、お茶や水はいかがでしょうか。

全国の医療機関から発行された処方箋の保険調剤を
いたします。

お薬のことなら何でもご相談ください

